

令和4年度
北区飛鳥山博物館事業計画

2022.03

1 令和4年度展示・イベント・講座・講演会事業計画のポイント

(1) 展示事業

○大河ドラマ館の閉館に伴う展示業務の復帰

令和3年12月26日をもって大河ドラマ館が閉館した。このことにより令和4年度は従来通りの展示事業体系に復帰する。なお、令和4年度は王子神社が現地に鎮座して700年の年にあたるため、常設展示室内において特別に展示を行う。

(2) 講座・講演会事業

○新型コロナウイルス拡散防止を講じた安全安心な講座の工夫

座学においては会場のキャパシティを考え通常の50%を基準に、野外講座においても通常より人数を少なく設定した。なお、野外講座においてはワイヤレスガイドシステムを用い、距離を保ちながら講師の話を聞くことができるようにする。

2 展示・イベント・講座・講演会事業数

(1) 展示

企画展	3回
特別展覧会	1回
夏休みわくわく展示	1回
学校対応展示	1回
スポット展示	1回
常展活用展示	2回
計	9回
(令和3年度	10回)

(2) イベント

夏休みわくわく	
ミュージアム	1回
計	1回
(令和3年度	1回)

(3) 講座・催し物

一般向け講座	48講座	53回
展示関連講座	7講座	9回
わくわく講座	16講座	29回
	71講座	91回
(令和3年度	6講座	10回)

令和4年度の事業 ※名称は仮称、実施日・回数は予定。

1. 展示

★ 企画展 3回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	令和3年度春期企画展「幻想の江戸 —異文化のまなざしに映った他者・ 表象・言説—」	令和4年3月23日(水) ～5月14日(土)	特別展示室 ホワイエ 講堂	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>幕末維新期に北区を訪れ、さまざまな記録を残した欧米人は、管見でも30人以上を数える。いったい、何が、そして、どこが彼らを引き付けたのか？ 本展の目的は、19世紀末に、ひとつの文明の洗練の極致を極めた日本文化における、自然と人間との関わりを究明するものである。展示では近世・近代初期の北区における、眺望に優れた名所の姿と、江戸グルメや洗練されたもてなしの場を多数の同時代資料から紹介し、「風景のジャポニスム」の世界を明らかにする。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>前近代から近代へと変遷をとげた地域像を、異国人の視点から紹介し、地域の魅力発信の一助とする。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	秋期企画展「食の考古学」	10月22日(土)～ 12月4日(日)	特別展示室 ホワイエ	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>原始古代における食にまつわる展示。食材の取得や調理に関する道具の変化など、時代を追ってその特徴をみる。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>食という身近なテーマを通じて考古学に親しんでもらう。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
3	春期企画展「I♥スーパー —スーパ ーマーケットのチラシにみる昭和 —」	3月21日(火・祝)～ 5月14日(日)	特別展示室 ホワイエ	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>北区王子にあったスーパー「ほりぶん」の主に昭和37年から昭和50年代頃のチラシを通して、当時の北区域における消費傾向、食生活やライフスタイル、その変化などを読み解いて紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>寄贈資料を活用しながら、地域への関心を促す。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	

〈備 考〉

★ 特別展覧会 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	特別展覧会「第21回 人間国宝奥山峰石と北区の工芸作家展」	9月10日(土)～ 10月10日(月・祝)	特別展示室 ホワイエ 講堂	久保埜
<p>〈概 略〉 北区在住の鍛金工芸作家である人間国宝・奥山峰石氏を中心に、北区にゆかりのある工芸作家の作品を一堂に展示する。今回は第1回から実質的には20年目にあたるため、会場を広げて実施する。</p>				
<p>〈ねらい〉 美術工芸分野に関心がある層の新規来館を促す。利用者拡充。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ 夏休みわくわく展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	わくわくミュージアム★2022「メイド イン 北区を探せ！」	7月21日(木)～ 8月28日(日)	特別展示室	谷口
<p>〈概 略〉 収蔵資料の中で、「北区でつくられたもの/うまれたもの」をテーマに資料を展示する。</p>				
<p>〈ねらい〉 自由研究への素材提供。</p>			<p>〈対 象〉 小・中学生</p>	
<p>〈備 考〉 そのほか館内を用いたイベントを開催予定。</p>				

★ 学校対応事業展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、知って！昔のくらし展	1月7日(土)～ 2月28日(火)	特別展示室	安武
<p>〈概 略〉 小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の大正の終わり頃から昭和の中ごろの生活用具を展示するとともに、館所蔵の古写真を展示し、くらしの変化を紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。</p>			<p>〈対 象〉 小学生および一般</p>	

〈備 考〉

★ スポット展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	ASUKAYAMAセクション5 ☆2022☆	5月28日(土)～ 6月26日(日)	特別展示室	鈴木 佐々木
〈概 略〉 収蔵資料の中から学芸員がおすすめる収蔵資料5点をそのみどころも含めて紹介する。				
〈ねらい〉 館蔵品の活用。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				

★ 常展活用展示 2回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	〈回想のための〉テーマ展示「オボエテマスカ?—懐かしの暮らしと道具—」	4月1日(金)～ 6月19日(日)	常設展示室	久保 埜 工藤
〈概 略〉 回想法の手法を導入しながら、当館所蔵の生活用具等の資料を水塚の母屋とその周囲に展示する。				
〈ねらい〉 常設展示を活用しながら、高齢者、特に高齢者施設の利用を促す。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				
2	鎮座 700 年 王子神社の歴史と文化	7月16日(土)～ 9月25日(日)	常設展示室	石倉
〈概 略〉 本展は、鎌倉時代末に王子の地に鎮座した若一王子社(近世では王子権現・近代以降は王子神社と称する)の歴史と文化を紹介する展示である。中世の在地領主豊島氏の動向、熊野三山領荘園豊島庄の存在と年貢負担、熊野三山への遠隔地参詣の実態、さらに関東公方や戦国大名後北条氏・徳川氏との関わり、王子田楽の伝承、明治初期の准勅祭社列格、そして戦後の歩みを分かりやすく展示する。常設展示室既存パネルも活用する予定。				
〈ねらい〉 王子神社の歴史を通して、地域理解を深める。また展示を通して、都指定文化財(天然記念物)のイチョウや、北区指定有形文化財の王子田楽・若一王子社縁起絵巻など、身近な文化に親しむ機会としたい。			〈対 象〉 一般	

〈備考〉

2. イベント

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム★ 2022	7月21日(木)～ 8月28日(日)	特別展示室 体験学習室 館内	谷口
〈概略〉 博物館で北区の魅力を再発見してもらうために、館内各地でさまざまな催し物を行う。特別展示室では「メイド イン 北区を探せ！」を実施（概要は夏休みわくわく展示参照）。また、体験学習室を中心に各種講座を開催するほか（詳細は夏休みわくわく講座参照）、館内全体を舞台にした催し物を行う。				
〈ねらい〉 夏休みの自由研究の宿題につながる催し物とする。			〈対象〉 小中学生とその家族	
〈備考〉				

3. 講座・講演会

★ 一般向け講座 48 講座 53 回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	北区文化財めぐり－王子編－	5月13日(金)	野外	20名	山口
〈概略〉 区内に所在する指定文化財を中心にめぐり、現地で解説を行う。飛鳥山碑、旧渋沢家飛鳥山邸、旧醸造試験所第一工場、王子神社、滝野川学園跡等を予定。					
〈ねらい〉 指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 昼食を挟んだ午前・午後通しの講座とし、密度の濃い説明を行う。継続講座。					
2	北区民俗学講座「北区の旧村地域を歩く-田端村編-」	5月15日(日)	体験学習室 野外	20名	工藤
〈概略〉 対象地域を風習や民俗が最も色濃かった江戸時代の旧村地域とし、参加者とともに現地を歩くことで、現代に残る民俗や、その民俗がどのように変化してきたかを参加者に紹介する。今回は対象を旧田端村地域とし、実際に参加者とともに現地調査をおこなう。					

<p>〈ねらい〉 自身が暮らす地域に対し、新たな視点を獲得することで地域への愛着を深める。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
3	北区遺跡学講座 2022「未定」	5月21日(土)	講堂 野外	20名	牛山
<p>〈概 略〉 区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。見学地は未定。</p>					
<p>〈ねらい〉 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
4	『万葉集』からたどる人々のくらし	5月22日(日)	講堂	50名	谷口
<p>〈概 略〉 豊島郡上丁椋椅部荒虫之妻宇遲部黒女の歌を筆頭に、現在の関東地方周辺で詠われた『万葉集』の東歌を中心にすることで、古代(奈良時代)の庶民の暮らしをたどります。</p>					
<p>〈ねらい〉 民衆の様子を歌で記した『万葉集』を読み解くことで、当時の豊島郡にいたであろう民衆の暮らしへの理解を深める。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
5	江戸のお仕事、紹介します キラキラ系ファッション業界の巻	5月28日(土)	講堂	40名	石倉
<p>〈概 略〉 爛熟を極めた近世後期の髪型や化粧品などに関わる諸職を、錦絵資料も交えて分かりやすく紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉 江戸文化に親しむとともに、モードを支えた諸職について認識を深める機会とする。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
6	歩く勉強会〜リチギにたどる区界2	5月29日(日)	体験学習室 野外	10名	久保埜

<p><概 略> 昨年中止した講座。東田端～昭和町～堀船を歩く。</p>					
<p><ねらい> 現地を訪ねることで地域への関心と理解を深める。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 新規講座。</p>					
7	北区ジュニア考古学クラブ20 22	6月5日(日)	常設展示室 体験学習室	8名	安武
<p><概 略> 博物館を会場とした、小中学生向けクラブ活動。1年を通して、考古学に関する活動を行う予定(不定期)。初回は、常設展示室で縄文人の暮らしについて見学したのちに、体験学習室で貝輪作りを行う。</p>					
<p><ねらい> 利用者層の拡充</p>			<p><対 象> 考古学に興味のある小学3年生～中学生</p>		
<p><備 考> 子どものみ(要送迎)。継続講座。</p>					
8	北区文化財めぐりー西ヶ原編ー	6月11日(土)	野外	20名	山口
<p><概 略> 区内に所在する指定文化財を中心にめぐり、現地で解説を行う。西ヶ原一里塚、七社神社、城官寺、滝野川町役場跡、旧古河庭園・旧古河邸等を予定。</p>					
<p><ねらい> 指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 昼食を挟んだ午前・午後通しの講座とし、密度の濃い説明を行う。継続講座。</p>					
9	地図で読み解く北区の近代	6月12日(日)	講堂	40名	佐々木
<p><概 略> 古地図や古写真などを用いて、北区の昔を知る講座。</p>					
<p><ねらい> 北区の歴史への興味関心を高める日常(散歩など)で何気なく使える知識を学ぶ</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 新規講座。</p>					
10	江戸のお仕事、紹介します ファブリック系ファッション業界の	6月18日(土)	講堂	40名	石倉

	巻				
<p>〈概 略〉 爛熟を極めた近世後期の呉服屋や上絵師・半襟屋・紺屋などに関わる諸職を、錦絵資料も交えて分かりやすく紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉 江戸文化に親しむとともに、モードを支えた諸職について認識を深める機会とする。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
11	DM 限定講座 文献から知る北区の古代史	12月18日(日)	講堂	50名	谷口
<p>〈概 略〉 北区の古代史の流れを振り返るとともに、豊島郡衙について文献史学の目線から解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 豊島郡衙を文献史学から見ることで、古代史に関する関心を深める。</p>			<p>〈対 象〉 DM会員</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
12	助一郎日記を読むーお富士さんの変遷と明治44年の富士登山ー	6月26日(日)	講堂	50名	田中
<p>〈概 略〉 「高木助一郎日記調査報告書1. 2」を使って、明治末から昭和20年代までの十条富士塚での祭礼「お富士さん」の変化と、明治44年の富士登山について講義する。</p>					
<p>〈ねらい〉 指定文化財である「高木助一郎日記」の活用。資料(日記)を読む楽しさを伝える。十条地域の富士講活動について知る。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
13	考古楽講座〈中級編〉「考古学を学ぶー貝塚の話・中里貝塚ー」	7月3日(日)	講堂	40名	安武
<p>〈概 略〉 中里貝塚について詳しく解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 区内遺跡への興味喚起。中里貝塚の周知(整備基本計画の一環)。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		

<p>〈備考〉 模型を使った解説も行うため、定員はやや少なめに設定する。継続講座。</p>					
14	大人の浮世絵鑑賞講座	7月10日(日)	講堂	30名	工藤
<p>〈概略〉 収蔵資料の浮世絵を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合う、コミュニケーションを通じて鑑賞を深める。</p>					
<p>〈ねらい〉 対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的で深い学びを促す。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
15	江戸のお仕事、紹介します フードサービス業界の巻	7月16日(土)	講堂	40名	石倉
<p>〈概略〉 近世後期の居酒屋や天麩羅・鮎・蕎麦などに関わる諸職を、錦絵資料も交えて分かりやすく紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉 江戸文化に親しむとともに、食を支えた諸職について認識を深める機会とする。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座。</p>					
16	第37回新聞から読む考古学—2022年上半期を振り返る—	7月17日(日) AM・PM 計2回	講堂	各50名	鈴木
<p>〈概略〉 新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは!と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2022年上半期の記事を取り上げる。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座</p>					
17	皇妃エリザベートが見た王子田楽	8月6日(土)	講堂	40名	石倉
<p>〈概略〉 1869年、日墺修好通商条約締結により、オーストリア皇室と日本皇室との間で贈答品の交換が行われた。このとき日本側から皇妃エリザベートに贈られた画帳に「王子田楽」を描いた一枚がある。松本楓湖筆「王子田楽図」は、師・菊池容斎の強い影響下に作られたものと推定されるが、作画年代</p>					

<p>をめぐって別当金輪寺が主催した近世最末期のものなのか、それとも王子田楽が一旦、廃絶して新たに国家神道期の明治期に作画されたものなのか、課題点が多い作例である。当時の王子田楽の様相を考える上で、新たな視点を提供する。</p>					
<p>〈ねらい〉 絵画表象に描かれた民俗芸能の、時系列による変容の姿を分かりやすく紹介する。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
18	鹿島紡績を知る	9月18日(日)	体験学習室 野外	20名	佐々木
<p>〈概 略〉 民間で最初の紡績工場(鹿島紡績所)について学び、鹿島万平に関する場所を訪ねる。</p>					
<p>〈ねらい〉 水利と工場地の関連について知る。北区の歴史への興味関心を高める</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
19	江戸のお仕事、紹介します ドリンク・素材系業界の巻	3月11日(土)	講堂	40名	石倉
<p>〈概 略〉 米屋や塩、野菜、魚介、豆腐などのほか、スパイス系として七色唐辛子などに関わる諸職を、錦絵資料も交えて分かりやすく紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉 江戸文化に親しむとともに、食を支えた諸職について認識を深める機会とする。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
20	学び舎に響く歌声『北区の校歌』	10月16日(日)	講堂	50名	工藤
<p>〈概 略〉 区内小学校の校歌を素材に、小学校校歌の歌詞の変容と郷土との関わりを読み解くもの。</p>					
<p>〈ねらい〉 近代の区内小学校の校歌に表現された郷土観を通して、地域への理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					

21	北区遺跡学講座 2022「未定」	10月22日(土)	講堂 野外	20名	高坂
<p>〈概 略〉 北区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。見学地は未定。</p>					
<p>〈ねらい〉 新規来館者の獲得。区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
22	『将門記』からひも解く武士たち	10月23日(日)	講堂 野外	20名	谷口
<p>〈概 略〉 中世の北区において活躍した武士団たちの源流である、古代(平安末期)の武士たちの様子を、彼らについて如実に記した軍記物語、『将門記』を用いて解説するとともに、本書の主人公である平将門や古代の武士ゆかりの地をめぐる。</p>					
<p>〈ねらい〉 古代の武士たちを資料ならびに関係する場所をめぐることで、中世活躍する武士団へのさらなる理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
23	古民家解説会	10月29日(土)AM・PM 計2回	北区ふるさと農家体験館	各30名	山口
<p>〈概 略〉 旧松澤家住宅の解説を行う。屋根裏にも見学者を上げる。</p>					
<p>〈ねらい〉 古民家に対する理解を促進し、ふるさと農家体験館の周知を図る。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 東京文化財ウィーク参加事業。継続講座。</p>					
24	文芸から読み解く明治・大正の北区	10月30日(日)	講堂	30名	佐々木
<p>〈概 略〉 明治・大正期の東京(特に北区)について書かれている文章から、まちや風物の移り変わりを読み解くことを試みる。</p>					

<p>〈ねらい〉 まちや風物の変化を実際に体験した人々の文章を通して、くらしや時代の変化を学び取る。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
25	ちびっこ体験講座「あすかやまのどんぐりでおもちをつくらう！」	11月5日(土)	体験学習室	16名	安武
<p>〈概 略〉 自然観察をしながら、飛鳥山公園内を散策して拾ったどんぐりを使って、でんでんだいこやマラカスを作るもの。</p>					
<p>〈ねらい〉 利用者層の拡充</p>		<p>〈対 象〉 3～5歳児と保護者</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
26	人はそこまで工夫を重ねるのか！豆腐万華鏡	11月12日(土)	講堂	40名	石倉
<p>〈概 略〉 近世の王子は扇屋・海老屋に代表される食文化が花開いた地であった。本講座は、ヴァリエティに富む『豆腐百珍』（江戸時代後期刊行）の中から数点を紹介しつつ、近世食文化の広がりをつまやく解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 ユネスコ世界遺産に認定された和食文化。本講座は、江戸文化に親しむとともに、身近な食文化の奥深さについて認識を深める機会としたい。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
27	文化財公開講座 稲付の餅搗唄の実演と体験	11月23日(水・祝)	北区ふるさと農家体験館	300名	山口
<p>〈概 略〉 稲付の餅練唄・餅搗唄保存会と西が丘小学校の生徒による餅搗唄の実演と踊りの披露。来館者による餅つきの体験を行う。</p>					
<p>〈ねらい〉 北区指定有形民俗文化財である稲付の餅搗唄を区民に広く周知し、餅搗唄の保存継承を図る。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉</p>					

東京文化財ウィーク参加事業。継続講座。					
28	ドイツ人から見た王子、江戸文化	11月20日(日)	講堂	50名	谷口
<p>〈概 略〉</p> <p>ドイツ人ハイネ著「日本」に記載されている王子及び江戸の記述を読み解くことで、ドイツ人の感性からみた江戸文化を解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>「日本」に記載された江戸の様子や表現されているドイツ語の言葉を読み解くことで、外国人から見た江戸への理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
29	文化財講演会「銭湯からまちを考える」	11月13日(日)	講堂	80名	山口
<p>〈概 略〉</p> <p>2019年に「稲荷湯」(滝野川6丁目)が国登録有形文化財(建造物)へ登録されたことを記念し、銭湯の魅力に迫る講演会を行う。稲荷湯の建物としての見どころや、地域における銭湯の可能性について講演する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>国登録有形文化財「稲荷湯」について周知を図る。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>講師：せんとうとまち 栗生はるか氏・牧野徹氏(予定) 新規講座。</p>					
30	ちびっこ体験講座「あすかやまのおちばでメッセージカードをつくろう！」	11月26日(土)	体験学習室 野外	16名	安武
<p>〈概 略〉</p> <p>自然観察をしながら、飛鳥山公園内を散策して拾った落ち葉をつかってメッセージカードを作るもの。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>利用者層の拡充</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>4・5歳児と保護者</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
31	守貞が見た江戸の暮らし	11月27日(日)	講堂	50名	工藤
<p>〈概 略〉</p> <p>江戸時代のモノ資料に関する百科事典である『守貞謾稿』を題材に、当時の生活史を明らかにする。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>道具の使い方について江戸と大坂を対比しつつ解説をし、歴史学</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		

と民俗学をモノでつなく講座とする。					
〈備考〉 継続講座。					
32	文化財めぐり—滝野川編— 新選組とテルマエ・ロマエ、滝野川の旧中山道を歩く	12月4日(日)	野外	20名	田中
〈概略〉 滝野川地域に所在する文化財をめぐり、現地で解説を行う。板橋宿跡、近藤勇と新選組隊士供養塔、中山道三軒家、稻荷湯、亀の子たわし、千川上水分配碑、土地区画整理碑を見学予定。					
〈ねらい〉 身近にのこる文化財を知ること、地域の歴史や文化への関心を高める。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 新規講座。					
33	人はそこまで工夫を重ねるのか！玉子万華鏡	12月10日(土)	講堂	40名	石倉
〈概略〉 近世の王子は扇屋・海老屋に代表される食文化が花開いた地であった。本講座は、ヴァリエティに富む『玉子百珍』（江戸時代後期刊行）の中から数点を紹介しつつ、近世食文化の広がりを分かりやすく解説する。					
〈ねらい〉 ユネスコ世界遺産に認定された和食文化。本講座は、江戸文化に親しむとともに、身近な食文化の奥深さについて認識を深める機会としたい。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 新規講座。					
34	荒川とともに暮らす～岩淵水門を見に行こう！～	12月11日(日)	講堂 野外	20名	佐々木
〈概略〉 飛鳥山博物館にて荒川の暮らしや青山士の事績を紹介したのち、岩淵水門ならびに荒川治水資料館の見学を行う。					
〈ねらい〉 水辺の暮らしを学びながら、防災意識を高める。歴史への興味関心を高める。			〈対象〉 一般		
〈備考〉 新規講座。					

35	考古資料を見て学ぶ	12月17日(土)	講堂	20名	牛山
<p>〈概 略〉 区内で実施された発掘調査での出土資料を直に見て、触れて、資料の見かた等を学ぶ。</p>					
<p>〈ねらい〉 区内で実施された発掘調査成果の普及、活用。区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
36	考古楽講座〈中級編〉「考古学を学ぶ―埴輪の話 その3―」	1月28日(土)	講堂	50名	安武
<p>〈概 略〉 赤羽台4号墳出土埴輪のふるさと、生出土埴輪窯について詳しく解説するもの。</p>					
<p>〈ねらい〉 区内遺跡への興味喚起。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
37	敷居は高いけど、いつか行きたい?江戸高級料亭の世界	1月14日(土)	講堂	40名	石倉
<p>〈概 略〉 近世の王子は扇屋・海老屋に代表される食文化が花開いた地であった。本講座は、錦絵などの絵画資料や近世の随筆、紀行文、さらには料理本に紹介された江戸の料理文化や高級料亭を紹介しつつ、近世食文化の広がりをつまみやすく解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 ユネスコ世界遺産に認定された和食文化。本講座は、江戸文化に親しむとともに、食文化の奥深さについて認識を深める機会としたい。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
38	『万葉集』から見る風景	1月15日(日)	講堂	50名	谷口
<p>〈概 略〉 『万葉集』に詠われた様々な場所や風景をひもとくことで、当時の様子や古代の人々の感性を解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 『万葉集』には様々な場所や地域が描かれている。その場所を紹介するとともに身分に関わらず風景で集約することで古代の日本の風景への理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		

<p><備 考> 新規講座。</p>					
39	第38回新聞から読む考古学— 2022年下半期を振り返る—	1月29日(日) AM・ PM 計2回	講堂	各50名	鈴木
<p><概 略> 新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは!と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2022年下半期の記事を取り上げる。</p>					
<p><ねらい> 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
40	『下村記行』でみる江戸の暮らし	2月4日(土)	講堂	50名	工藤
<p><概 略> 江戸時代に農民の目線で記された紀行文を読み解く講座。2月の白酒祭りに合わせて講座を行う。</p>					
<p><ねらい> 近世の北区域に対する理解を深める。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 新規講座。</p>					
41	助一郎日記を読む—春の年中行事—	2月11日(土)	講堂	50名	田中
<p><概 略> 「高木助一郎日記調査報告書1. 2」を使って、正月・七草粥・節分・ひな祭り・六阿弥陀詣の記述を読み、明治・大正期に北区で行われていた年中行事について講義する。</p>					
<p><ねらい> 指定文化財である「高木助一郎日記」の活用。資料(日記)を読む楽しさを伝える。北区の民俗についての理解を深める。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 新規講座。</p>					
42	ケータリングはコンビニエント だ!花見弁当の世界	2月18日(土)	講堂	40名	石倉
<p><概 略> 常設展示室に再現された江戸の花見弁当を中心に、旬の食材や調理法を開設するとともに、当時の行楽文化の広がりを分かりやすく紹介する。</p>					
<p><ねらい> ユネスコ世界遺産に認定された和食文化。本講座は、江戸文化に親しむとともに、日本で高度に発達した「お弁当」を通じて食育に対する認識を深める機会としたい。</p>			<p><対 象> 一般</p>		

<p>〈備考〉 新規講座。</p>					
43	中世の土地支配を歩いて考える	2月26日(日)	講堂 野外	12名	谷口
<p>〈概略〉 豊島氏が補任していた武蔵国足立郡の佐々目郷に関する史料を読むとともに実際に佐々目郷周辺を歩きます。</p>					
<p>〈ねらい〉 中世史料にふれるとともに、現在大河ドラマで注目されている鎌倉時代、および室町時代の北区を中心として支配した豊島氏についての理解を深める</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座。</p>					
44	北区遺跡学講座 2022「未定」	3月4日(土)	講堂 野外	20名	高坂
<p>〈概略〉 北区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。見学地は未定。</p>					
<p>〈ねらい〉 新規来館者の獲得。区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
45	農園芸と北豊島周辺	3月5日(日)	講堂 野外	20名	佐々木
<p>〈概略〉 近代以降「本邦園芸中心地」と呼ばれた北豊島郡の農園芸と種に関する座学の後、滝野川地区を歩く。</p>					
<p>〈ねらい〉 地域への関心と理解を深める。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座。</p>					
46	川柳と名所図会でたどる西ヶ原・飛鳥山一日光御成街道滝野川コース	10月15日(土)	講堂	40名	石倉
<p>〈概略〉 江戸時代の文芸である川柳や江戸名所図会を題材にして、鷹場屋敷や日光門主下屋敷、七社神社、六阿弥陀信仰さらには飛鳥山の遊興の姿を、分かりやすく解説する。</p>					

<ねらい> 「川柳あすか」前会長の岡本忠直氏（西ヶ原在住）による川柳解説と、石倉による歴史資料にもとづく説明の二部構成の講座により、区民協同を実現する。		<対 象> 一般			
<備 考> 新規講座。					
47	北区ジュニア考古学クラブ20 22-古墳たんけんー	3月12日(日)・25日 (土)全2回	講堂 野外	16名	安武
<概 略> マチナカに残る古墳を訪ね歩き、古墳の形や大きさを体感するもの。横浜市内（稲荷前古墳群、市ヶ尾横穴墓群、赤田2号墳など）を見学予定。					
<ねらい> 利用者層の拡充		<対 象> 考古学に興味のある小学3年生～中学生			
<備 考> 小学生は保護者同伴。継続講座。					
48	考古楽講座 遺跡に行こう！春	3月18日(土)・19日 (日)全2回	講堂 野外	20名	鈴木
<概 略> 各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。探訪先は未定。					
<ねらい> 考古学への関心を高める。		<対 象> 一般			
<備 考> 継続講座。					

★展示関連講座 7講座 9回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	スポット展展示解説	6月25日(土) ①1時30～ ②3時～ 計2回	特別展示室	10名	鈴木 佐々木
<概 略> スポット展示「ASUKAYAMAセレクション5」の展示解説を行う。					
<ねらい> 展示内容の理解を深める。		<対 象> 一般			
<備 考> 当日先着順。新規講座。					

2	特別展覧会付帯事業「人間国宝に学ぶ！鍛金体験講座」	9月17日（土）午前・午後 計2回	体験学習室	各回 8名	久保埜
<p>〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、人間国宝・奥山峰石氏を講師に迎えて、金属のストラップなどを製作する。</p>					
<p>〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 日程変更の可能性あり。継続講座。</p>					
3	特別展覧会付帯事業「〇〇を楽しむ学ぶ講座」	9月20日（金・祝）	体験学習室	12名	久保埜
<p>〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。講師・内容については未定。</p>					
<p>〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 日程変更の可能性あり。出展者全体会議において実施可否を決定。継続講座。</p>					
4	特別展覧会付帯事業「作家が語る！工芸の基礎知識」	10月10日（月・祝）	ホワイエ	20名	久保埜
<p>〈概 略〉 工芸への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸の各ジャンルの技法や特徴などについて作家に解説していただく。感染防止対策のため、ホワイエを会場とし、定員を設定して行う。</p>					
<p>〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 日程変更の可能性あり。継続講座。</p>					
5	考古楽講座〈中級編〉考古学を学ぶー食の考古学ー	11月19日（土）	講堂	50名	鈴木
<p>〈概 略〉 衣食住の中から原始古代の食について解説をする。</p>					
<p>〈ねらい〉 遺跡や遺物への理解や関心を高める。新規来館者の獲得。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					

6	秋期企画展特別講演会	12月3日(土)	講堂	50名	鈴木
<p><概 略> 秋期企画展に関連して外部講師を招き、原始古代の食について講演していただく。</p>					
<p><ねらい> 食という身近なテーマを通じて考古学に親しんでもらう。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 新規講座。</p>					
7	春期企画展関連イベント「100スーパー 展示解説」	3月26日(日)	特別展示室 ホワイエ	15名	久保埜
<p><概 略> 春期企画展と北区域についてより理解と関心を深めていただくことを目的として、展示担当者が企画展の内容を解説する。</p>					
<p><ねらい> 企画展の内容について理解と関心を深める。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 新規講座。</p>					

★ 夏休みわくわく講座 16講座 29回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	親子で参加！勾玉づくり教室	7月21日・8月11日 各(木) 計2回	体験学習室	各回 8組 16名	鈴木 安武
<p><概 略> 区内でも出土している勾玉を、当時と同じように作る。石は「青田石」を予定。</p>					
<p><ねらい> 当時と同じ方法で作ることで、その苦勞や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>			<p><対 象> 小学3・4年生と保護者の2名 1組</p>		
<p><備 考> 保護者も製作可。継続講座。</p>					
2	親子で参加！土器づくり教室	7月22日(金)・8月 13日(土) 計2回	体験学習室	各回 8組 16名	鈴木 安武
<p><概 略> 縄文人と同じ輪積み技法で小さいサイズ(1kg)の縄文土器を作る。</p>					

<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>		<p>〈対 象〉 小学3・4年生と保護者の2名1組</p>			
<p>〈備 考〉 親子で1つの土器を作る。継続講座。</p>					
3	江戸の縁起物【絵馬】を作ろう！	7月23日(土)・8月12日(金) 計2回	体験学習室	各回 8組 16名	工藤
<p>〈概 略〉 江戸時代の信仰に関する道具である絵馬について理解を深める。1組で2つの絵馬を制作し、1つは王子神社の絵馬の絵柄を描き、もう1つはそれぞれの思いや願いを込めたオリジナルデザインの絵馬を制作する。</p>					
<p>〈ねらい〉 江戸時代の信仰文化を理解する。</p>		<p>〈対 象〉 小学生～中学生と保護者の2名1組</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
4	飛鳥山公園探検隊	7月24日(日)・8月10日(水) 計2回	体験学習室 飛鳥山公園	各回 5組 10名	佐々木
<p>〈概 略〉 学芸員が作成したミッションをクリアして自分だけの飛鳥山公園探検マップを作成する。講座の最後に自分の作ったマップを発表してもらう。ミッションの一部には、拓本(乾拓)を取り入れる。</p>					
<p>〈ねらい〉 楽しみながら飛鳥山公園に親しむ。拓本(乾拓)の方法を学ぶ</p>		<p>〈対 象〉 小学生～中学生と保護者の2名1組</p>			
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
5	昔のおもちゃを作ろう	7月26日(火)・27日(水) 計2回	体験学習室 講堂	各回 12名	久保埜
<p>〈概 略〉 昔ながらのおもちゃ(こま、風ぐるま等)を手作りしながら、昔の子どもの遊びや暮らしを紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉 工作を通して、昔の暮らしに興味をもってもらう。</p>		<p>〈対 象〉 小学生と保護者の2名1組</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					

6	夏休み勾玉づくり教室	7月28日・8月18日・ 25日 各(木) 計3 回	体験学習室	各回 16名	鈴木 安武
<p>〈概 略〉 区内でも出土している勾玉を、当時と同じように作る。石は「青田石」を予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。</p>			<p>〈対 象〉 小学5年生～中学生</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
7	親子で浮世絵鑑賞教室	7月29日(金)・8月 20日(土) 計2回	体験学習室	各回 16～ 20名	工藤
<p>〈概 略〉 当館所蔵の浮世絵を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合う、コミュニケーションを通じて鑑賞を深める。</p>					
<p>〈ねらい〉 対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的で深い学びを促す。</p>			<p>〈対 象〉 小学生2名までと保護者の1組2～3名</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座</p>					
8	夏休み土器づくり教室	7月30日(土)・8月5 日(金)・19日(金) 計 3回	体験学習室	各回 16名	鈴木 安武
<p>〈概 略〉 縄文人と同じ輪積み技法で小さいサイズ(1kg)の縄文土器を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。</p>			<p>〈対 象〉 小学5年生～中学生</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
9	江戸時代のミニキッチンをつくらう!	7月31日(日)	体験学習室	10名	谷口
<p>〈概 略〉 館所蔵のおもちゃ絵「おかまへっついおはちおぜんこしらい」に描かれた昔の調理道具を絵に描かれた指示の通りに作る。なお、あわせて描かれた道具の実物資料を当館収蔵品で観察し、その使い方を学びながら作る。</p>					

<p>〈ねらい〉 「遊んで学べる」という趣旨のもとに描かれた当時の子供たちも遊んでであろうものを実際に体験することで、江戸文化について楽しく学ぶ。</p>		<p>〈対 象〉 小学校5・6年生～中学生</p>			
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
10	牛乳パックで行燈づくり	8月2日（火）	北区ふるさと農家体験館	16組 32名	山口
<p>〈概 略〉 牛乳パックを利用した行燈を製作し、暗くした古民家の中で点灯することで、昔のあかりの明るさ（暗さ）を体験してもらおう。ろうそくやひょうそくの明かりの明るさ（暗さ）やLEDの明かりを比べてもらおう。</p>					
<p>〈ねらい〉 照明が点灯している現代の夜の明るさとの違いを知ってもらおう。牛乳パックを利用した行燈づくりを古民家で行うことで、古民家の周知を図る。</p>		<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
11	チャレンジ！昔の手仕事～藍染	8月3日（水）・4日（木） 計2回	体験学習室	各回 12名	久保埜
<p>〈概 略〉 親子を対象に、藍染の歴史を学びながら、絞り染めのハンカチを作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 低年齢層の利用を促す。</p>		<p>〈対 象〉 小学生2名までと保護者1名の2～3名1組</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
12	「くずし字」で遊んでみよう！	8月7日（日）	体験学習室	15名	佐々木
<p>〈概 略〉 変体仮名などを学んだのち、最後はすごろくで遊んでみる（館蔵浮世絵でワークシートを作成予定）。</p>					
<p>〈ねらい〉 くずし字や歴史に親しむ。</p>		<p>〈対 象〉 小中学生</p>			
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					

13	はくぶつかん探検隊	8月9日・23日各(火) 計2回	体験学習室 館内	各回 7名	谷口
<p>〈概 略〉 普段は入れない博物館のバックヤードを担当学芸員の案内で探検する。最後に学芸員の仕事でもある資料調査を、資料をスケッチすることで実際に体験する。</p>					
<p>〈ねらい〉 博物館に愛着を持ってもらう。博物館への理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 小学3～6年生</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
14	江戸時代のずぼんぼをとばそう!	8月14日(日)	体験学習室	10名	谷口
<p>〈概 略〉 江戸時代の子供たちが作って遊んでいたおもちゃ、ずぼんぼを作る。今年の干支にちなんでトラのずぼんぼをつくる。</p>					
<p>〈ねらい〉 江戸時代の紙おもちゃを作ること、小学校低学年の児童でも手軽に江戸文化に触れる。</p>			<p>〈対 象〉 小学生</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
15	和のデザインで団扇作り	8月16日(火)・17日 (水) 計2回	体験学習室	※	田中
<p>〈概 略〉 団扇が江戸時代から身近な道具であったこと、自分で紙を張り替えて使っていたことを説明したのち、骨に紙を貼って団扇をつくり、千鳥・流水・菱など、和の模様を使った切絵で団扇をつくる。</p>					
<p>〈ねらい〉 昔の人は道具(団扇)を修理しながら大切に用いていたことを伝える。自分だけの団扇を作ること、モノづくりの楽しさを知ってもらう。</p>			<p>〈対 象〉 16日:小学生～中学生と保護者の2名1組 17日:小学3年生～中学生</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。※16日は8組16名。17日は子供のみ16名。</p>					
16	和綴じメモ帳をつくってみよう	8月21日(日)	体験学習室	8組 16名	佐々木
<p>〈概 略〉 博物館に所蔵している和本を実際に見た後に、同じような閉じ方(四ツ目綴じ)でメモ帳を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 歴史や昔の技法に関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉 小学5年生～中学生と保護者の2名1組</p>		

〈備考〉

中学生は1人での参加可。新規講座。

4. 学校対応・支援事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、知って！昔の道具	1月11日(水)～ 2月28日(火)	特別展示室 講堂・館外	安武 工藤
〈概略〉 館所蔵の大正初期から昭和の中ごろの生活用具を展示するとともに、館所蔵の古写真を展示し、くらしの変化を紹介する。また、昔の道具（既製品）を使う体験事業（かまど体験・せんたく体験などを予定）とセットで行う。				
〈ねらい〉 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。			〈対象〉 区内小学校中学年	
〈備考〉 体験事業は新型コロナウイルスの状況をみて実施する。				
2	体験授業（考古学）	通年（依頼に応じて実施）	体験学習室	鈴木 安武
〈概略〉 土器作りや勾玉作りを当時と同じ方法で行う。				
〈ねらい〉 大昔の人の技術や工夫を学ぶ。			〈対象〉 区内小学校6年生	
〈備考〉 新型コロナウイルスの状況をみて実施する。				
3	出張授業	通年（依頼に応じて実施）	依頼先学校	学芸員
〈概略〉 北区の歴史や自然、民俗に関することを学校に赴き授業を行う。				
〈ねらい〉 北区の歴史や自然、民俗についての理解を深める。			〈対象〉 区内の小学校・中学校・ 高等学校	
〈備考〉 内容によって担当学芸員を決定。新型コロナウイルスの状況をみて実施する。				
4	職場訪問・体験	通年（依頼に応じて実施）	館内各所	安武 工藤

<概 略> 博物館の業務に関して話をしたり、体験をしてもらう。	
<ねらい> 博物館の業務の理解を深めてもらう。	<対 象> 区内の中学校・高等学校
<備 考> 担当は窓口。新型コロナウイルスの状況のみて実施する。	

5. 学芸員実習

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	博物館実習	8月9日（火）～8月21日（日）	館内	鈴木
<概 略> 準職員として本館学芸員とともに日常の博物館業務に携わる。子ども向け事業の準備および実施のアシスタントや館蔵資料の整理作業などを行う。				
<ねらい> 学芸員の仕事を実際に行い、体験することで理解を深める。			<対 象> 大学等で学芸員養成課程を受講している人	
<備 考> 令和4年2月に募集をかけ、最大4名を受け入れ。担当は窓口。				
2	見学実習	通年（依頼に応じて実施）	館内	鈴木 石倉 久保埜 安武
<概 略> 一般の人が普段はいることができないバックヤードを含めた館内を見学し、学芸員が解説する。				
<ねらい> 博物館の実態を知ってもらう。			<対 象> 学芸員養成課程を開講している大学	
<備 考> 新型コロナウイルスの状況のみて実施する。				

6. 出張事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	回想法プログラム「昔の道具で思い出がたり」	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関	久保埜 工藤

<p>〈概 略〉</p> <p>博物館が所蔵する古い生活道具を通して、昔の記憶をたどるプログラム。依頼のあった施設まで資料を携えて赴き、資料を見て、触れて、思い出を語ってもらう。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>博物館資料の活用。博物館の社会への有用性を探る。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>高齢者介護施設など</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>新型コロナウイルスの状況を見て実施する。</p>				
2	一般講義	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関 講堂 体験学習室	学芸員
<p>〈概 略〉</p> <p>外部機関からの依頼に応じて講義を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>依頼機関への協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>当館で行う場合でも外部依頼の場合はこれに含む。新型コロナウイルスの状況を見て実施する。</p>				

7. 団体見学

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	一般見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般団体</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>担当は窓口。内容に応じて各学芸員が対応。新型コロナウイルスの状況を見て実施する。</p>				
2	学校等見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学校</p>	

〈備 考〉

担当は窓口。新型コロナウイルスの状況をみて実施する。

8. 資料の貸出・利用

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の貸出	通年（依頼に応じて実施）	—	鈴木 佐々木
〈概 略〉 館蔵資料を貸し出す。				
〈ねらい〉 他館等への協力。博物館のPR。			〈対 象〉 博物館・研究機関・学校 など	
〈備 考〉				
2	資料の利用	通年（依頼に対して実施）	—	鈴木 佐々木
〈概 略〉 館蔵資料の撮影や画像データの提供などを行う。また、研究目的での資料の調査等へ協力する。				
〈ねらい〉 個人や会社などへの協力。博物館のPR。			〈対 象〉 個人・博物館・学校・会 社 など	
〈備 考〉				

9. 資料の収集

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の寄贈	通年（依頼に応じて実施）	—	久保埜
〈概 略〉 北区やその周辺地域に関する資料等の寄贈を受け入れる。				
〈ねらい〉 地域資料の保護と活用。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				

2	資料の購入	通年（必要ならびに現出に 応じて実施）	—	学芸員
〈概 略〉 北区やその周辺地域に関する資料等を購入する。				
〈ねらい〉 地域資料の保護と活用。			〈対 象〉 古美術店・古書店 など	
〈備 考〉				

10. 資料の保全

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	環境調査	5月～6月	館内各所	久保埜
〈概 略〉 虫害・カビの現状を把握するとともに、防除策を総合的に検討するため、全館を対象としたムシ・カビ・塵埃・温湿度を含む総合調査を実施する。				
〈ねらい〉 環境保全。			〈対 象〉 館内	
〈備 考〉				
2	燻蒸	7月2日(土)～10日(日)	特別収蔵庫 一般収蔵庫	久保埜 工藤
〈概 略〉 館所蔵の博物館資料と、それらが収められている一般収蔵庫及び特別収蔵庫の施設について、殺虫、殺卵、殺カビ効果のある薬品を用いて燻蒸を行う。				
〈ねらい〉 資料の保全。			〈対 象〉 各種資料	
〈備 考〉 臨時休館日は7月5日(火)～8日(金)の予定。				